

けやきっ子

四日市市立羽津北小学校 令和6年10月7日号

学校 HP
はこちら



☆羽津北小学校運動会

9月28日(土)四日市ドームで運動会を実施しました。PTA役員の皆様には前日準備から運動会当日の早朝より駐車場や会場等の管理、そして後片付けなど、大変お世話になりました。ありがとうございました。

ご来賓の方、保護者・地域の皆様のおかげで、子どもたちは最後まで自分の力を出し切ろうとがんばりました。代表委員の子どもたちが考えた今年のテーマは「みんなが最高に楽しめる運動会にしよう!」です。競技・演技に息を合わせて取り組んだり、さりげなく友だちをサポートしたりするなど、互いに支えあう姿がみられました。他学年の競技・演技への応援や、歓声と拍手など、子どもたちも楽しんで観覧していました。6年生は小学校生活最後の運動会でした。競技・演技、そして運動会運営と後かたづけなど、てきぱきと働き最高学年として活躍しました。



☆全国学力・学習状況調査 ~結果と分析~

今年度、4月18日(木)に6年生が「全国学力・学習状況調査」(国語・算数)を実施しました。この調査は、子どもたち一人ひとりの学力の定着状況を確認するとともに、今後の指導方法の改善に役立てるものです。本校は、「自ら学び、共に生きる子どもの育成」を学校教育目標とし、児童の主体性の向上をめざしています。学校と家庭・地域との連携が子どもたちの学習に良い影響を与えることも改めて確認できました。本校の調査結果と分析ができましたので、以下の通りお知らせいたします。調査問題については、文部科学省HPからご覧になれます。

1. 今年度の学力調査からみられる本校児童の特徴

《国語科》 本校 71%の正答率（三重県67%・全国67.7%）

○強み

- ・「知識及び技能」について、72.6%の正答率で全国平均よりも高い結果でした。
- ・「話し言葉と書き言葉との違いに気づく」は、81.7%（三重県 74.5% 全国 75.9%）、「目的や意図に応じて、分類したり、関係づけたりしながら、伝えたいことを明確にする」は、83.9%（三重県 79.0% 全国80.3%）など、言葉の特徴や使い方についておおむね理解できていました。
- ・「資料の情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句との関係の表し方」は、89.2%（三重県 88.5% 全国88.9%）の正答率で、しっかりと身につけていることがわかりました。

▲弱み

- ・「事実と感想や意見を目的や意図に応じて区別し、条件に合わせて工夫して文章を書く」は、60.2%（三重県57.5% 全国58.8%）で課題がみられました。
- ・対話形式の問題で「内容に該当する話し方の工夫について選択肢から選ぶ」は、58.1%（三重県 51.7% 全国52.9%）でした。具体的な事柄につて抽象的に捉えることが苦手です。

《算数科》 本校 65%の正答率（三重県 62%・全国63.4%）

○強み

- ・「数量の関係を□を用いた式にあらわす」91.4%（三重県 87.8% 全国88.5%）、「直方体の見取り図をかく」87.1%（三重県 86.2% 全国85.5%）などの問題についておよそ80%以上の正答率でした。基礎的な事項の知識・理解について、おおむね身についていると考えられます。
- ・「文章を読み、提示された条件に必要なデータを選ぶ」は82.8%（三重県73.0% 全国73.3%）の正答率で、「道のりと時間の関係について考える」についても、79.6%で、よくできていました。

▲弱み

- ・「除数が小数の場合の計算 $500 \div 0.6$ 」は、60.2%（三重県 67.6% 全国 70.1%）、「球の直径から、球がぴったり入った立方体の箱の体積を求める」は、44.1%（三重県33.7% 全国 36.5%）
- ・「表から必要な数値を読み、式にあらわし、与えられた条件について判断する」は、48.4%（三重県 47% 全国 49.3%）でした。数と計算や図形の領域で、思考力をみる問題について課題がみられました。
- ・「考えたわけを言葉や数を用いて書く」22.6%（三重県 27.5% 全国 31%）、「計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて書く」55.9%（三重県 58.1% 全国 56.9%）でした。言葉や数、式を使って求め方や考えた理由を説明することが苦手です。

各教科の授業で、資料をよみ自分でまとめる、学んだことをふりかえり自分の言葉で書くなどの活動を取り入れてきました。学習時のタブレット活用にも慣れ、課題について自分で考え、友だちと協働し解決する力がのびてきています。情報の中から要点を適切にとらえ、与えられた条件に応じて考えたことを文章などで表現できるよう、今年度は、説明する力の向上に重点をおき、職員研修を積んでいます。「やってみたい」「なぜだろう」と興味・関心がもてる課題提示の工夫や問題の解決のしかた「学び方」の育成を意識し、授業改善を今後も進めてまいります。

2. 今年度の児童質問紙からみられる特徴(学習・生活の状況に関して)

つよみ	
「自分にはよいところがあると思う」	53.8% (全国平均より10.4%↑)
「学校に行くのは楽しいと思う」	57.0% (全国平均より9.8%↑)
「先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思う」	54.8% (全国平均より6%↑)
「人が困っているときは進んで助けている」	63.4% (全国平均より17.4%↑)
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」	90.3% (全国平均より6.4%↑)
「人の役に立つ人間になりたいと思う」	72.0% (全国平均より0.9%↑)
「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」	45.2% (全国平均より8.4%↑)
「5年生まで各教科の授業で、学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行ってきた」	35.5% (全国平均より5.8%↑)

学校で認められているという自信・安心感から自己肯定感が育まれ、「さらによくなろう」とする将来への意欲につながっていると考えられます。対話や協働的な活動を授業にも取り入れ、知識・技能の定着のみならず、意欲・向上心・自制心などの非認知能力の育成にもつながるよう指導・支援していきます。

よわみ	
「国語の授業で学習は、目的に応じ、簡単に書いたり、詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるよう工夫して文章を書く」	33.3% (全国平均より3.8%↓)
「わからないことや詳しく知りたいことがあった時、自分で学び方を考え、工夫することができていない」	26.9% (全国平均より7.6%↑)
「携帯電話・スマホやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っている・大体守っている」	62.3% (全国平均より8.8%↓)
「平日1日当たりの携帯電話・スマホやコンピューターでSNSや動画視聴などをする時間(学習やゲームを除く)が4時間以上」	15.1% (全国平均より3.6%↑)

本校児童は、落ち着いた授業態度で学校生活を送っており、課題にも真面目に取り組んでいます。さらに主体的に学べるよう、学習・生活について、自分なりのめあてやその方法を考える力を育成し「自己調整の力」を養っていきます。メディアリテラシー教育についても、学年にあわせて、引き続き取り組みます。ご家庭におかれましても、スマホやコンピューター使用のルールなどについて話し合うなどご協力いただきますようお願いいたします。

～おわりに～

今年度の学力調査では、国語・算数ともに全国・三重県平均よりも上回る結果となりました。基礎的な知識・技能について安定した力がついていることが確認できた一方、思考・判断・表現については、課題が見られました。特に複合的な問題や資料をよみ、情報を適切に取り出して課題解決すること、そして条件にあわせて自分の考えを的確に表すことについて、今後も段階的に指導していきます。

様々な指導について羽津地区の中学校や小学校、保育園、幼稚園と連携し、地域の児童生徒に対して共通課題を持って指導しています。今後とも本校の教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願い致します。